

以下の被災状況（日本語、英語）について、中華人民共和国駐日本国大使館、駐日大韓民国大使館、台北駐日経済文化代表処、駐日ベトナム社会主義共和国大使館、駐日ネパール連邦民主共和国大使館、駐日タイ王国大使館、駐日ミャンマー連邦大使館、駐日モンゴル国大使館、駐日インドネシア共和国大使館、駐日スリランカ民主社会主義共和国大使館、駐日スウェーデン王国大使館、駐日マレーシア大使館、駐日アメリカ合衆国大使館、駐日インド大使館、駐日フランス大使館、駐日ロシア連邦大使館、駐日フィリピン共和国大使館、駐日サウジアラビア王国大使館、駐日イタリア大使館、駐日スペイン大使館、駐日英国大使館、駐日カナダ大使館、駐日バングラデシュ人民共和国大使館、駐日カンボジア王国大使館、駐日シンガポール共和国大使館の大使等あて連絡いたしました。

2011年3月24日

\*\*\*\*大使館等

\*\*\*\*\* 殿

財団法人日本語教育振興協会

理事長 佐藤次郎

東北地方太平洋沖地震による日本語教育機関の被災状況等について（連絡）

拝啓

日頃、日本への留学問題について御理解と御協力をいただいております。感謝申し上げます。

さて、3月11日に発生した標記の地震による日本の日本語教育機関留学生の被災状況について御連絡申し上げます。

日本語教育機関は全国に449あり、そこで学んでいる留学生は世界の101か国・地域から43,669人が学んでおります。日本語教育機関の修了生の70%以上は大学・大学院、専門学校等、日本の高等教育機関に進学しております。

日本語教育機関の3月17日現在の被災状況について申し上げます。まず、人的被害についてであります。東北地域の日本語教育機関（10機関）を含む全国の日本語教育機関の留学生は全員無事であり、死亡・負傷した者はありませんでした。

また、校舎等の倒壊したものはありませんでした。一部の日本語教育機関で校舎壁の亀裂・窓ガラスの破損等がありましたが、学校の運営に支障は出ておりません。

今後とも日本語教育機関の留学生の安全確保に努めるとともに充実した教育を推進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、当協会の20年の歩みをまとめた「日本語教育振興協会20年の歩み」が最近刊行されましたので、同封させていただきました。是非、御一読お願い申し上げます。

敬具